

令和3年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	3	岡谷市やまびこ国際スケートセンター	
指定管理者	名称	(株)やまびこスケートの森	指定期間	R3.4.1~R8.3.31
料金形態	形態	指定管理料	指定管理料	77,603,704円
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施			
施設担当課	スポーツ振興課			

1 施設担当課によるモニタリングの実績

○施設訪問

・施設訪問の頻度

▼より選択

月に数回

・施設訪問の際に行った内容

▼より選択

情報交換、意見交換	○
施設管理状況の確認	○
施設の安全点検（危険箇所の把握等）	○
業務指導、改善要求	○

○事業報告書

・報告書の提出を求めている頻度

▼より選択

日報	月報	四半期報告書	年報（事業報告書）
×	○	×	○

●モニタリングの結果

・モニタリングで把握した課題

①管理棟屋根に錆や塗装の剥がれている箇所があるが、雨漏り等はなし。 ②管理棟外壁に、塗装が剥がれ、タイルクラック箇所がある。 ③リンク中央部分（テニスコート部分）やリンク回りのアスファルトや幅木に傷みがある。 ④事務所換気扇2台の故障。 ⑤冷凍機エンジンのオーバーホール修繕が必要となっている。（10年に1度の目安で修繕が必要） ⑥危険滑走者に帽子や手袋等の非着用者がいる。 ⑦場内凍結箇所（リンク内側、連絡地下通路等）への早期対応。 ⑧昨年からの引き続き利用者増加へ向けた取り組み。

・指定管理者に対して業務指導、改善要求を行った内容

①指定管理者による定期的な経過観察を行い、雨漏り等が確認された場合はすぐに報告するよう指導。 ②指定管理者による定期的な経過観察を行い、事業を実施するうえで支障をきたす場合及び施設利用者の安全面に影響を及ぼす状況が確認された場合は直ちに報告するよう指導。 ③指定管理者による修繕及び定期的な経過観察を行い、事業を実施するうえで支障をきたす場合及び施設利用者の安全面に影響を及ぼす状況が確認された場合は直ちに報告するよう指導。 ④新型コロナウイルス感染拡大防止のため早急に修理するよう指示。（R4修繕予定） ⑤定期点検の実施及び効率の良い運転を指示。 ⑥館内放送での注意喚起、リンク内及びリンク外（トレーニングルーム等）から監視の実施。 ⑦凍結防止剤の散布指示、転倒防止のための敷物の設置。 ⑧SNS等を広く活用した施設利用の周知や競技の魅力を伝えスケート人口の拡大に向けた取り組み検討指示。
--

・業務指導、改善要求への対応状況

▼より選択

内容	チェック
指定管理者は、市の指導・監督に従い、速やかに指摘事項を是正・改善した。	○

2 施設担当課としての評価

○ 実績評価

・ 事業報告書各項目の採点 (70点)

事業計画の項目	指定管理者	市の評価	評価に対する事項
基本方針	4	4	基本方針に沿った管理運営がされている。
経費縮減	4	4	水道光熱水費の価格が高騰する中で、引き続き節約に努めていただきたい。
職員の配置	5	5	リンクの監視員を適正配置し、利用者の安全確保に努められている。
有資格者等の配置	5	5	適正に配置されている。
職員研修の実施	3	3	概ね実施計画に基づいて実施されているが、さらなる職員の資質向上を期待する。
施設の維持管理	4	4	施設が老朽化している中、巡回業務を実施しながら適切な管理運営がされている。
住民の平等利用の確保対策	4	4	利用者へ施設利用に公平性を欠くことのないよう対応している。
サービス向上対策	3	3	平常時と比較し、人員を増員することで、コロナ禍における利用者の安全な施設利用に努めた。
利用者の要望の把握及びその実現対策	4	4	利用者のニーズを把握し、概ね実現対策が図られている。
自主事業の実施	3	3	一部大会を実施したもののコロナ禍による利用者の安全のため、適宜開催を見送る判断がなされた。
地域、他施設との連携	4	4	塩尻市の市民への補助適用など、地域との連携が図られている。
施設の運営	4	3	施設の利便性と安定的な運営に努めている。
個人情報保護に向けた取り組み	5	5	適正に取り組まれている。
防犯、防災の対応 その他、緊急時の対応	5	5	大雨時における被害状況の把握など、迅速に対応されている。
合計	57	56	

※各評価に対する事項については、特記すべき点を記載（採点「5」及び「1」については、必ず評価に対する事項を要す）すること。

採点	評価基準
5	管理運営業務が要求水準、事業計画を上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を確保した。
4	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり又はやや上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を行った。
3	概ね要求水準、事業計画のとおり管理運営を行った。
2	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり行われており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供が提供されることが見込まれるものの、一部遅滞や不履行がみられ、簡易な改善を要する。
1	管理運営業務が要求水準、事業計画を下回るなど、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供に改善が図られず、次年度に早急な改善等を図る必要がある。

・ 出納状況 (4点)

出納状況	はい	いいえ
決算について、各項目の収入額は適正である。	1	
〃、各項目の支出額は適正である。	1	
〃、必要な業務を行わずに余剰金が生じた項目はない。	1	
指定管理経費は、法人本体の経理とは明確に区別して管理された。 複数施設を一括管理している場合、1施設ごとに予算・決算が示された。	1	
合計点	4	

・ 事務事業評価 (10点)

↑増、↓減、→現状維持

▼より選択

施設の利用状況	チェック	採点
施設稼働率	↓	0
年間利用者数、件数	↓	0
1日あたり利用者数、件数	↓	0
施設使用料年間収入額	↓	0
活動一単位あたりコスト※1	↑	0
※1 増0点、減2点	合計点	0

有効性評価	高い
-------	----

増	: 2点
維持	: 1点
減	: 0点

※施設稼働率、利用者、収入の減については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設の閉鎖のため減

・ 評価する事項

<ul style="list-style-type: none"> これまで培ってきた専門的な知識やノウハウを活かす中で、岡谷市のスケート振興の中心的役割を担うとともに、安定的な施設の管理運営に努めた。 施設の老朽化や、原油価格の高騰に伴う燃料費の負担が増える中、電気料金のデマンド監視や施設の効率的な管理運営により、水道光熱費等の経費縮減に努めた。 リンク監視員を適正配置し、施設利用者の安全確保に努めるとともに利用者の公平性の確保にも努めた。また、初心者向けの補助具（スケートマスター）の貸し出しをファミリースケートデー以外にも土日祝祭日に実施し、利用者のサービス向上に努めた。 市内スケート選手の全国大会での活躍を伝える張り紙を施設内へ掲示した。 新型コロナウイルス拡大防止のため、人員を強化し、市民の安全なスケート活動への参加に尽力した。また、感染拡大に伴う施設の閉鎖に対して、利用者への周知など迅速な対応を行った。
--

・ 改善が必要だと考える事項

<ul style="list-style-type: none"> スケート人口が減少しているなか、各種イベントや自主事業の充実を目指し、さらなるスケート振興及び底辺拡大に努める必要がある。 職員研修の実施による接客能力、運動指導能力のさらなる向上を図る必要がある。 コロナ禍となって数年が経過しようとしているなかで、新型コロナウイルスを想定した「新しい営業形態」の検討も必要であると考えます。 施設の老朽化に伴い、日々の細やかな点検業務を実施し修繕箇所の早期発見に努め、小規模修繕による対応を促進し、利用者が安全・快適に利用していただけるよう管理運営に努める必要がある。

・ 事業計画書の提案事項のうち未実施の項目

未実施の項目	特になし
未実施の理由	

・ 3つの選定基準による評価 (16点)

▼より選択

3つの選定基準	評価項目	評価	点数
1 平等利用の確保	利用者ニーズへの対応の積極性、苦情処理の充実度	高い	2
	平等利用の確保対策の充実度	高い	2
2 施設の有効利用及び経費の節減	施設利用状況の向上度 (利用者数・件数、使用料収入)	普通	1
	岡谷市のまちづくりに対する貢献度	高い	2
	経営ノウハウの活用度	普通	1
	管理・運営コストの抑制度	高い	2
3 管理の安定性	管理・運営体制の安定度	高い	2
	施設・設備の安全度、安全確保対策の充実度	高い	2
		合計点	14

●総合評価

特に優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	適正な管理運営が行われており、更なる向上が求められる	管理・運営方法の改善が必要である	管理・運営方法の抜本的な改善が必要である
90点以上	89-70点	69-50点	49-30点	29点以下
S	A	B	C	D
	○			

令和3年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	3	岡谷市やまびこ国際スケートセンター	
指定管理者	名称	(株)やまびこスケートの森	指定期間	R3.4.1~R8.3.31
料金形態	形態	指定管理料	指定管理料	77,603,504 円
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施			
施設担当課	スポーツ振興課			

1 施設の利用状況

*①は貸館施設のみ対象 *②・③はどちらかの欄に記入 *

区分	元年度	2年度	3年度	4年度(予算)
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数(日)	86	83	64	83
1日の開設時間(時間)	13	13	13	13
年間利用可能時間(時間)	1,118	1,079	832	1,079
年間利用実績(時間)	1,118	1,079	832	
② 年間利用者数(人)	24,365	18,038	11,182	18,038
有料利用者数	11,527	8,359	5,708	8,359
無料利用者数	10,512	8,081	4,582	8,081
減免措置者数	2,326	1,598	892	1,598
③ 年間利用件数(件)	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	283.3	217.3	174.7	217.3
⑤ 施設利用状況の説明				

2 コストの推移

*この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

[単位:円]

区分	元年度	2年度	3年度	4年度(予算)
① 直接事業費	84,477,489	90,201,808	86,158,446	84,716,378
経常経費	80,379,969	81,848,408	81,985,046	80,536,378
臨時的経費	4,097,520	8,353,400	4,173,400	4,180,000
*臨時的経費の説明	冷凍機エンジン修繕			

区分	元年度	2年度	3年度	4年度(予算)
② 人件費	640,000	640,000	640,000	640,000
正規職員の人数(人)	0.08	0.08	0.08	0.08
③ 合計コスト(①+②)	85,117,489	90,841,808	86,798,446	85,356,378
前年度比		106.7%	95.5%	98.3%
財源内訳				
一般財源	77,830,199	84,563,434	81,693,272	75,345,378
特定財源	7,287,290	6,278,374	5,105,174	10,011,000
*特定財源の説明	施設使用料、財産使用料			
④ 施設使用料年間収入額	6,127,890	5,291,215	3,995,934	8,884,000
⑤ 年間減免措置額	841,720	897,305	894,680	894,680
⑥ 受益者負担割合	8.3%	6.9%	5.7%	11.5%
⑦ 活動一単位あたりコスト	3,325	4,573	7,389	
前年度比		137.5%	161.6%	
⑧ コストに関する補足説明				

3 大規模修繕の予定

内容	予定事業費	円	予定時期

4 施設の維持管理コスト

1 施設の維持管理にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
需用費		4,173,400	4,173,400	冷凍機エンジン修繕
役務費	242,512		242,512	保険料
委託料	77,603,504		77,603,504	指定管理料
使用料及び賃借料	4,139,030		4,139,030	土地借上料
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	81,985,046	4,173,400	86,158,446	

2 施設の維持管理にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	
正規職員の人数	0.08		0.08	人
合計	640,000	0	640,000	円

3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
施設使用料	3,995,934		3,995,934	施設使用料
財産使用料	1,109,240		1,109,240	トレーニングルーム等
			0	
			0	
			0	
合計	5,105,174	0	5,105,174	

4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	77,519,872	4,173,400	81,693,272